

## 大学図書館問題研究会第 30 回京都支部総会議案

### 【第 1 号議案】

2006 年度 (2006. 7 ~ 2007. 6) 活動総括及び

2007 年度 (2007. 7 ~ 2008. 6) 活動方針

#### 1. 2006 年度活動総括

##### (1) 研究交流活動

2006 年度は下記のように、2006 年 9 月及び 2007 年 3 月に大図研京都ワンディセミナーを開催しました。また、大学図書館を取り巻く環境の変化を少し広い視野で捉えることを目的とした全 5 回からなる大図研京都連続セミナー「知の変容と大学図書館」を企画し、2007 年 6 月に第 1 回セミナーを開催しました。

いずれのセミナーも好評で、アンケートにおいても高評価を得ることができました。また、セミナーを 2 回以上行うという目標も達成することができました。

##### A. 大図研京都ワンディセミナー

テーマ：「図書館・図書館員のための Web の情報発信」

日時：2006 年 9 月 23 日 (土) 13:30 ~ 16:40

講師：岡本真氏

場所：京都市国際交流会館

参加費：大図研会員は無料 / 非会員は 500 円

##### B. 大図研京都ワンディセミナー

テーマ：「RFP 作成時における図書館業務分析と委託評価の試行について」

日時：2007 年 3 月 3 日 (土) 13:30 ~ 16:30

講師：平岡健次氏 (江戸川大学 学術情報部)

場所：京都市国際交流会館

参加費：大図研会員は無料 / 非会員は 500 円

##### C. 大図研京都連続セミナー「知の変容と大学図書館」第 1 回

テーマ：「大学の変貌」

日時：2007 年 6 月 3 日 (日) 13:30 ~ 16:30

講師：竹内洋先生 (関西大学)

場所：キャンパスプラザ京都

参加費：大図研会員は 800 円 / 非会員は 1,000 円

## (2) 支部報

新しい会員から退職者まで、執筆者の幅を広げることにも努めました。続京大図書館史こぼれ話(連載)、近畿4支部新春合同例会や全国図書館大会、京都大学図書館機構講演会等の感想、海外の図書館事情、文献管理ソフトについてなど、充実した紙面づくりに励みましたが、定期発行できなかったことが反省点としてあげられます。

## (3) ホームページ、メーリングリスト、メールマガジン

2006年7月に、ホームページのリニューアルを行いました。サイトの目的、利用条件、閲覧確認環境を明示するとともに、トップページに大学図書館問題研究会京都支部の説明を配置するなど、初めてアクセスする人にもわかりやすい構成になりました。また、セミナー開催情報や、支部委員会報告など、会員に必要な情報を掲載するとともに、支部報執筆者の公開希望があれば、京都支部のサイトからも当該原稿を公開することができることにしました。尚、2006年8月22日にアクセスカウンターを設置しましたが、2007年7月3日現在、1,522アクセスを得ています。

メールマガジンは「大図研京都支部 NewsLetter」として、no.12(2006年8月10日)からno.29(2007年7月2日)を発行しました。今後の課題としては、支部委員会報告にとどまることなく、会員に有益な情報をコンスタントに発信することがあげられます。また、メーリングリストについては、双方向性という特徴を十分に活用することができていないので、何らかの工夫が必要だと思われる。

## (4) 組織活動

会員数は、71名(2006年7月)から69名(2007年6月)と、2名減少しました。会員数変動の内訳は、新規入会者1名、退会者3名です。年々、会員数は減少しているものの、今年度に関しては最小限にとどめられたのではないかと思います。

新規会員の獲得については引き続き、あらゆる機会をとらえ、積極的に勧誘に努めることが必要です。

## (5) 財政

財政については、支部委員会として毎月状況を把握するとともに、前年度に引き続いて積極的な会費納入の働きかけを行いました。また、昨年度に引き続き、支部委員3名体制による会費納入率の向上に努めました。

2006年度については重点的に、3年以上会費を滞納している会員(以下、長期滞納者)を減らすことに努めた結果、16名(3年分滞納者5名、4年分滞納者4名、5年分滞納者7名)を5名(4年分滞納者4名、5年分滞納者1名)まで減らすことができました。

また、会費徴収スケジュールを作成し、計画的な督促業務を可能にするとともに、会費の支払義務の発生時<sup>1)</sup>を明らかにしました。また、新たに長期滞納者が生まれることのないよう、会費未納に連動する会員資格の一時停止<sup>2)</sup>を運用規則として新たに設けました。

<sup>1)</sup> 2006年度第7回支部委員会(2007年1月29日)において、「6月下旬の納入期日までに退会の申し出があれば当年度会費の支払義務は発生しないものとする。しかし6月下旬の納入期日までに退会の申し出がなければ当年度会費の支払義務が発生するものとする。」ことが了承されました。

<sup>2)</sup> 2006年度第7回支部委員会(2007年1月29日)において、「24ヶ月後の6月下旬までに会費の納入がなければ、会員資格を一時的に停止し、その旨を本人および本部へ通知するとともに、督促を継続する。」ことが了承されました。

## 2. 2007 年度活動方針

### (1) 研究交流活動

会員のニーズに応じた研究活動の充実をはかり、会員の専門的力量的形成に役立てるため、特別事業として連続セミナーを4回、その他セミナー等を2回以上、開催します。また会員間のコミュニケーションを促進するため支部報の発行、ホームページの充実、メールマガジンの発行など、一層の努力をします。

### (2) 支部報

支部報の発行体制に無理が生じつつあるため、支部報の刊行頻度を月刊から隔月刊に変更し、定期発行に努めます。読んで自己啓発や会員間交流につながる支部報にとどまることなく、会員へ発表の場を提供する支部報作りに努力します。

### (3) ホームページ、メーリングリスト、メールマガジン

京都支部の活動に関する情報をわかりやすく提供するために、ホームページの更新を行います。

会員の親睦と交流を盛んにするための媒体として、メーリングリストを効果的に活用できるよう努力します。また会員に対して、支部の活動状況を迅速にお知らせする媒体として、メールマガジンを、定期的に発信するように努力します。

### (4) 組織活動

大学図書館問題研究会および京都支部の活動を説明し、会員を増やす活動を進めます。セミナーなどあらゆる機会をとらえ、入会の勧誘に務めるだけでなく、魅力的な会報づくりや有益なセミナーの開催、会員交流の場の提供など、充実した支部活動を行います。

### (5) 財政

個々の会員への個人別会費納入状況のお知らせや振込用紙の発送を今年度も引き続いて行い会費納入率の向上に努めます。支部委員会において毎回担当者から報告・提案を受け、会費納入率向上に向けて支部委員全員で取り組みます。

また、セミナー等の企画については、他支部との共催等による経費の節減を模索します。

(以下の議案は当日配布します)

**【第2号議案】2006年度決算報告活動総括 及び 2007年度予算及び会計監査報告**

**【第3号議案】2007年度支部役員選挙**

#### 会費納入のお願い

会員のみなさまにおかれましてはご健勝のことと存じます。

大図研会費および京都支部会費の納入をお願いしているところですが、納入率は依然思わしくない状態にあります。2006年度(大図研会計年度2006.07 - 2007.06)の会費の納入をお願い致します。また、2005年度以前の会費をお納めいただいていない会員のみなさま、一刻も早い会費の納入にご協力いただきますようお願い致します。

**会費は、¥7,000(大図研会費：¥5,000+京都支部会費：¥2,000)です。**

会費は下記口座に郵便振替でお送りいただくか、お近くの支部委員におことづけください。

**郵便振替振替口座番号 01090-4-5904 大学図書館問題研究会京都支部**

また、ご不明な点は大学図書館問題研究会京都支部 (dtkk@rg7.so-net.ne.jp) または支部委員(組織・財政担当)の大綱浩一(〒606-8326 京都市左京区岡崎西福ノ川町25-205 電話：075-771-9555)まで。